

指宿市・山川・開聞建設業組合

新組合長に福永氏

指宿市建設業組合(出
口喜倉美組合長)、山川
建設業組合(福ヶ迫昭善
組合長)、開聞建設業組
合(新吉一秀組合長)は
4月28日、指宿市の指宿
海上ホテルで旧組合の解



福永 昭一 新組合長



新指宿市建設業組合発足総会

新執行部が決まった設立総会
指宿市の指宿海上ホテルで

表して出口組合
長が「新組織の
発足にあたって
の規約承認など
重要な議案が目
白押しです。円
滑な議事の進行
をお願いしたい
」と挨拶。

散総会と、新指宿市発足
に伴う新指宿市建設業組
合の設立総会を行い、新
組合長に福永昭一氏(株
福尚)が就任した。
会の冒頭、旧組合を代

と抱負を語った。
18年度事業計画は、①
適正価格の確保②工事量
止及び交通安全事故防止

確保のための関係者との
協議③建設業労働災害防
止及び交通安全事故防止

④技術者講習会⑤ボラン
ティア活動⑥災害個所調
査外など。

ら訪れ、配布開始前か
ら長蛇の列ができた。無
料配布を前に、花苗の説
明をした後、協会員らが
それぞれ一人ひとりに手
渡した。苗木を受け取る
と皆うれしそうに、大事
に持ち帰っていた。

多数の家族連れが
訪れたこともあり、
あつという間に配
布は終了。
霧島市内から訪
れた家族連れは、
「緑の中で心地よ
い時間を過ごせた
上に、苗木までも
らえてありがたい
ですね。家族で一
緒に植え、大切に
育てたいです」と

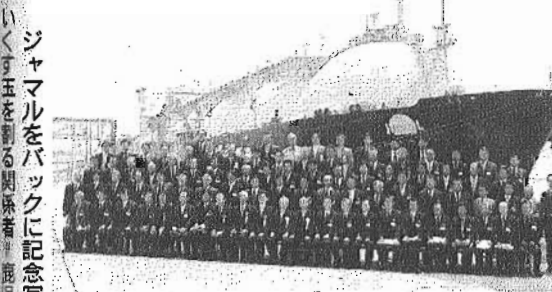
にぎわった花苗無料配布
鹿児島市の谷山緑地で

その中で、花苗

日本ガス、標準船初入港式

安定した供給態勢に

日本ガス(株)(中間兼市
社長)が改築を進めてい
た鹿児島市谷山港3丁目
の鹿児島工場バースがこ
のほど完成。4月30日、
オーストラリアから標準
LNG船(船名・エルエ
ヌジージャマル)の第一
船が10日間の航海を経て
入港。これに伴い同日、
関係者約100人が出席
し盛大に初入港を祝った。
南九州では初の入港。
同社はこれまで、イン
ドネシアから2隻の小型
LNG船(約2万t級)を

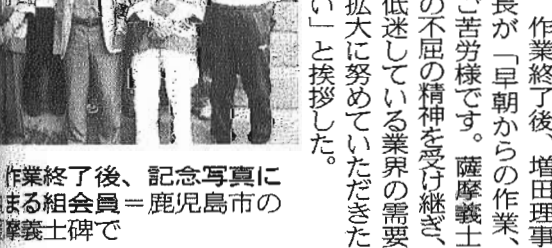


ジャマルをバックに記念写真(上)、入港を祝
い、五を割る関係者(下)鹿児島市の同社鹿児島

に大型標準LNG船(12
万5000t)14万500
0t級)を受け入れるこ
とで調達の多様化と安
定確保が図れる。そのた
め、標準船受け入れが可
能になるように平成16年
10月から鹿児島工場バ
ース改築を実施。概要は専
用岸壁前面の30m沖から
100mまでを9mから
水深13mまでしゅん
せつ、岸壁延長を315
mから528mに整備、
3月に完成した。

東贈呈後、中間社長が
「本日、無事入港し、そ
の堂々たる雄姿に感無量
だ。調達が増え、より
安定した供給態勢を整え
ることができた。標準船
は安定供給のための命綱
である」と挨拶。最後に、
中間社長をはじめ、
関係者らがくす玉を
割り、ジャマルをバ
ックに記念撮影を行
った。

4月29日の「みどりの
日」は全日本農協連合
会が定めた「春の豊の日」。
今年で14回目となった毎
年恒例の薩摩義士碑奉仕
作業は、約250年前郷
土の偉人が木曾川の治水
工事を成し遂げた偉業を



作業終了後、記念写真に
残る組合員＝鹿児島市の
薩摩義士碑で

偉業をしのび清掃

第一建設、ボランティアサポート

住民と清掃活動で汗

午前8時、現地集合し
た参加者約30人を前に、
主催者を代表して新福愛
子町議が「同地区の清掃
は今年で2回目となりま
す。昨年徹底的に作業し
てきれいになったといっ
てもまだボイ捨てなどで
ごみが蓄積されています。
今回も第一建設からごみ
収集車やダンパ等を提供
していただいております。
お互いに協力しあって精
いっぱい頑張ります」と
励まし、作業手順等の
説明の後、草刈り機やご
み袋等を手にした
参加者は早速作業
を開始した。
作業は真夏を思
わせる陽射しの下、
路肩の雑草を刈っ
たり、空き缶やペ
ットボトルなどを
回収、瞬く間にト
ラックはごみ袋や
雑草などが一杯に
なった。参加者は、
見違えるようにき

県置工業組合が奉仕作業

県置工業組合(増田勇
理事長)は4月29日、鹿
児島市城山町の薩摩義士
碑周辺の清掃奉仕作業を
実施。県内各地から組合
員ら23人が参加し、石碑
の清掃や階段の落ち葉拾
いなどの清掃作業を行っ
た。

低迷している業界を盛り
上げる趣旨で実施。
同日は早朝から、川薩
日置支部など県内各地か
ら組合員が駆けつけ、周
辺道路の除草や落ち葉な
どをほうきで清掃、石碑
は高圧洗浄機で磨き上げ
た。

作業終了後、増田理事
長が「早朝からの作業、
ご苦労様です。薩摩義士
の不屈の精神を受け継ぎ、
低迷している業界の需要
拡大に努めていただきた
い」と挨拶した。

第一建設(株)(木山裕繼
社長、加治木町)は4月
30日、加治木町日本山の
旧ドライン山小屋周
辺で、地域住民とともに
草刈り等清掃作業のボラ
ンティア活動を行った。

関係者らに呼ばれた関係者ら

花苗の配布に人気

県造園事業協同組合一
る相談会や花苗の無料配
布を行い、緑豊かで住み
よい町づくりに貢献した。
同イベントは、奉仕活
動の一環として4月29日
のみどりの日に、緑化へ
の理解を目的に開
催。庭づくりから
庭木までの造園に
関することや屋上
緑化、ハーブ(薬
草)などの無料相
談会や花苗無料配
布を午前と午後の
2回に分けて行っ
た。花苗はガザニア、
ペチニア、インパ
チェンス、マリ
ゴールド、サルビ
アの合計320鉢
を準備。
その中で、花苗

の無料配布では、配布前
から家族連れであふれ、
整列を促す組合員の声も
聞こえない状況。整列後
によりやく配布を始め、
好みの花苗を受け取るこ
うれしそうに家路に急い
でいた。
丸山理事長は、「安全

で明るく、楽しく過ごせ
る谷山緑地を目指したい
」と話していた。
なお同組合は、18年度
から5年間、県から指定
管理業者として谷山緑
地の管理を委託されてい
る。

丸山理事長は、「安全

れも鹿児島市の吉田葬祭
(099・247・1
457)で執り行われる。
喪主は妻・朋子さん。
同氏は、全日空ビルや
森ビルなど日本有数の建
築物の設計を手掛けてき
た。平成6年に帰国後、
県庁舎建設工事設計管理
事業組合の一員として庁
舎の設計を手掛けるなど
本県を代表する設計者と
して知られている。また、
広い見識と豊かな人間性
から、建設や設計業界を
はじめ各方面から高い評
価を得てきた。

関係者らに呼ばれた関係者ら